

おおたウエルカムボランティア

重プ

予算額 2,529万4千円

副題：区民のボランティアマインドを高め、

大会後も自主的に活動する区民を増やします

ポイント

東京2020大会を契機に、国内外から来訪する観戦者やブラジル選手団を区民とともに「おもてなし」するため、区が独自に行うボランティア事業です。昨年度採用された約300名のボランティアは、JR蒲田駅などでの観光案内のほか、ブラジル選手団の練習のサポートや通訳などを試行的に行いました。今年度採用した約150名と現在募集中の高校生ボランティアを加え、7月から9月まで活動します。

事業概要

1 おおたウエルカムボランティア運営業務

観光・スポーツ・国際交流の3分野に分かれ、観光と国際交流分野はオリンピックとパラリンピックの期間中に区内主要駅などで観光案内を行い、スポーツと国際交流分野は7月上旬から大会終了まで、ブラジルオリンピック選手団が事前キャンプを行う各施設で、練習のサポートや通訳を行います。



2 ボランティアへのユニフォーム支給など

活動時に着用するユニフォームと帽子などを支給します。

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部	スポーツ推進課
	課長	千葉	電話 5744-1733 (東京オリンピック・パラリンピック推進担当)
	担当者	梅田	電話 5744-1189

ブラジル選手団の事前キャンプ受け入れ

重プ

予算額 1,102万6千円

副題：ブラジル選手団の練習を万全の態勢でサポートし、
選手との交流を通して区民の国際理解を深めます

ポイント

男子バレーボール、ハンドボール、ビーチバレーボール、アーチェリーの4競技について、ブラジルオリンピック選手団の東京2020大会事前キャンプを受け入れます。これまで実施した合宿受け入れの経験を活かし、選手たちが万全の状態で大大会に臨めるようサポートするとともに、交流を通じて区民の国際理解を深めます。

事業概要

東京2020オリンピックの出場権を獲得している4競技の事前キャンプを7月上旬から大会終了まで受け入れます。事前キャンプ期間中は、大田区青少年交流センター「ゆいっつ」を4競技のブラジル選手の食事・宿泊の拠点として使用します。

昨年までの合宿同様、公開練習をはじめとした交流の機会を通じ、区民に大会の素晴らしさを感じてもらおうとともに、国際理解を深めます。



大森甚句を選手と一緒に踊る様子



公開練習の様子

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部	スポーツ推進課
	課長	千葉	電話 5744-1733 (東京オリンピック・パラリンピック推進担当)
	担当者	梅田	電話 5744-1189

東京 2020 大会気運醸成事業

重プ

予算額 1,870 万円

副題：大会に向けた区民の気運を高め、大会への参加を促します

ポイント

区内の主要駅や区施設などで、東京 2020 大会に関する装飾や、区の取り組みを紹介する動画を放映するなど、大会開催に向けて気運を盛り上げます。大会の祝祭感を演出し、区民や来訪者の期待感を高めることで大会に関する事業などへの参加を促します。

事業概要

1 東京 2020 大会に向けたまちの装飾

区内開催競技のホッケー、事前キャンプを受け入れるブラジル、区にゆかりある選手などを紹介する装飾を行うことで、大会への祝祭感を演出するとともに、シティプロモーションとして区の取り組みをPRします。

2 気運醸成のためのプロモーション

大会に向けた区の取り組みを紹介する動画を制作して放映するなど、区民や来訪者に東京 2020 大会への興味・関心を喚起するプロモーションを実施します。区内開催のホッケーや区にゆかりある選手の応援、事前キャンプを受け入れるブラジルとの国際交流やボランティアの参加など、より多くの区民が大会に積極的に関わる環境を作ります。



イメージ写真

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部 スポーツ推進課	
	課長	千葉	電話 5744-1733 (東京オリンピック・パラリンピック推進担当)
	担当者	田澤	電話 5744-1189

東京 2020 大会開催時関連事業

新規

重プ

予算額 1億4,440万8千円

副題：大会の貴重な機会を最大限に活用し、区のレガシーにつなげていきます

ポイント

キックオフイベントやコミュニティライブサイト、聖火リレー併催イベントなどさまざまな取り組みを行うことで、区民と一体となって大会を盛り上げ、感動を共有し、大会後のスポーツや文化の振興などにもつなげていきます。また、区民のおもてなしを通じて、来訪者に区の魅力を伝え、次の来訪につなげます。

事業概要

1 コミュニティライブサイト及び関連イベント事業

大会期間中に、大田区総合体育館や羽田空港跡地を会場としたコミュニティライブサイト※を行います。観戦チケットを持たない人でも、東京 2020 大会を楽しめるよう競技放映やステージイベントなどを実施します。

また、区独自のキックオフイベントを J R 蒲田駅前で行い、大会情報を積極的に発信し、より多くの人に大会の魅力を伝えます。

※コミュニティライブサイト：競技放映の他、ステージプログラムや展示・体験・飲食ブースなどを含めた自治体が行うイベント

2 聖火リレー関連事業

聖火リレー走行時（令和 2 年 7 月 22 日）にミニセレブレーション及び区独自イベントを実施します。聖火ランナーが大田区を走る感動を区民とともに共有し、地域から大会を盛り上げます。

3 文化プログラム事業

大会直前期に、区独自の文化プログラムとして、読売交響楽団によるパラリンピック応援コンサートを実施し、障がいのある方が音楽を楽しむ機会を提供するとともに、共生社会の実現に向けた区民理解の促進を図ります。

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部 スポーツ推進課		
	課長	千葉	電話	5744-1733（東京オリンピック・パラリンピック推進担当）
	担当者	田澤	電話	5744-1189

聖火リレー記念銘板の設置

新規

予算額 550 万円

副題：区内を走る聖火リレーをレガシーとして銘板を設置します

ポイント

令和2年7月22日に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の聖火が区内を走ります。東京2020大会の歴史をレガシーとして次世代に残すため、銘板を設置します。

事業概要

東京2020大会の聖火リレーは、令和2年3月26日に福島県をスタートし日本全国47都道府県を回ります。大田区の聖火リレーは「大森ふるさとの浜辺公園」から「大田区役所」までのルートが大会組織委員会が選定しました。

スタート地点となる「大森ふるさとの浜辺公園」に記念の銘板を設置し、大会のレガシーとして次世代に継承します。



大森ふるさとの浜辺公園

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部 スポーツ推進課		
	課長	堀	電話	5744-1635
	担当者	森住	電話	5744-1441

ボッチャ推進事業

新規

重プ

予算額 98万3千円

副題：東京 2020 パラリンピック競技種目のボッチャを推進します

ポイント

スポーツを実施する上での阻害要因として、「体力の不安」、「場所や施設の不足」が上位となっています。ボッチャ競技は、誰でも、どこでもできる手軽さがあり、スポーツへの関心を高めるために有効です。東京 2020 大会のレガシーとして、区民の誰もが楽しめる「ボッチャ」を推進します。

事業概要

1 会議室などを使った普及講習会

ボッチャは、会議室など一定のスペースがあればできる手軽さと、体力に自信がない方も楽しめるユニバーサルスポーツです。パラリンピックの競技種目で知名度が高まりつつある一方で、経験したことがある方が限られているため、定期的な講習会を実施し、競技を普及していきます。

2 交流大会の開催

現在ボッチャに取り組んでいる方や普及講習会でボッチャの楽しさを体験した方々が、さらに競技スポーツとしての楽しさを体験できるよう、交流大会を開催します。

大会には、誰でも参加できようにし、区内のさまざまなチームが一堂に会して、ボッチャを通じて世代や地域を越えた交流を図ります。



ボッチャ体験会の様子

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部	スポーツ推進課
	課長	堀	電話 5744-1635
	担当者	森住	電話 5744-1441

ランニング環境の整備事業

新規

重プ

予算額 322万6千円

副題：ランニングを気軽に楽しめる環境を整備します

ポイント

20～40歳代は、男女共にスポーツ実施率が低くなっていますが、ランニングの実施率はウォーキングに次ぎ2位です。ランニング環境を整備し、気軽にスポーツに親しめるようにすることでスポーツ実施率の向上と健康増進を図ります。

事業概要

1 ランニングステーションの整備

ランニングを楽しむには、安全な荷物管理、シャワー・更衣室などの設備、走りやすく距離の目標がわかるコースが求められます。

新スポーツ健康ゾーン内の大森スポーツセンターをランニングステーションとして整備し、ランニングを快適に親しめる環境を作ります。また、大森スポーツセンターを起点として、安全で走りやすいモデルコースを紹介することで、このエリアの認知度を高めていきます。



大森スポーツセンター

2 大田スタジアム・大井ホッケー競技場周辺ランニングなど活用調査

「大田スタジアム（収容人数3,223人）」及び隣接する東京2020大会のホッケー競技が開催される「大井ホッケー競技場」の周囲を活用したランニング環境やオリンピックのレガシーにつながるようなランニングコースの整備などについて調査します。

日本がオリンピックに初参加した際に、選考会が行われた「羽田運動場」の歴史の継承につなげ、区民のスポーツ実施率向上や区の認知度アップを図ります。

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部	スポーツ推進課
	課長	堀	電話 5744-1635
	担当者	森住	電話 5744-1441

羽田空港を起点としたインバウンド誘致事業

(仮称)ナイトタイムコンテンツによる地域にぎわい事業

新規

重プ

予算額 1,108万5千円

副題：東京 2020 大会を契機とした

訪日外国人に対するおもてなし体制を整備します

ポイント

近隣自治体と連携し、羽田空港に降り立つ訪日外国人旅行者に対しての空港周辺エリアの魅力的な観光スポット・食などのプロモーションを実施します。

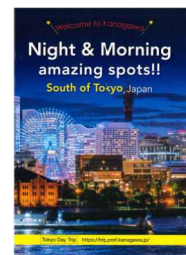
また、東京 2020 大会を控え増加が期待される区内滞在者に対し、安全・安心に夜間を楽しめるコンテンツを開発し、まちのにぎわいを創出します。

事業概要

1 近隣自治体と連携したプロモーション事業

品川区、川崎市、神奈川県などの近隣自治体と連携し、羽田空港周辺エリアの魅力的な観光スポットをプロモーションします。

参考：近隣自治体との連携事業で作成したパンフレット



2 ナイトタイムコンテンツによる地域にぎわい事業

商店街及び交通事業者などと連携し、東京 2020 大会期間中に、来訪者と区民が交流しながら、安全・安心にナイトタイムを楽しめる機会をつくれます。

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部	観光課
	課長	吉川	電話 5744-1321
	担当者	金野・片山	電話 5744-1322

東京 2020 大会を契機とした記念館・博物館での企画展

重プ

予算額 3,570 万 8 千円

副題：区内外から来訪する方へ大田の文化の魅力を発信します

ポイント

東京 2020 大会の開催期間に合わせて勝海舟記念館、郷土博物館、龍子記念館で、特別展や企画展を開催し、区民に区の文化や芸術に触れる機会を提供するとともに、国内外からの来訪者到大田の魅力的な文化を発信します。

事業概要

1 勝海舟記念館企画展

今年、海舟が咸臨丸で太平洋横断を果たしてから 160 年になります。長崎海軍伝習所で海軍技術を学んだことが、後に咸臨丸でのアメリカへの途を開くことになり、アメリカでの見聞が新たな時代の扉を開くきっかけとなりました。国内外から来館される方々にも興味を持ってもらえるような展示とします。

期間：7 月上旬～9 月中旬予定



(海舟ブレイン)

2 郷土博物館「川瀬巴水展」

国内外で人気の高い川瀬巴水の版画作品をはじめ、写生帖、肉筆画、版木、試摺といった貴重な資料約 400 点を 2 期に分けて展示します。

期間：第一期 7 月 18 日～8 月 16 日

第二期 8 月 20 日～9 月 22 日



(川瀬巴水「馬込の月」)

3 龍子記念館「東京オリンピック・パラリンピック開催企画展」

葛飾北斎の「富嶽三十六景」や伝俵屋宗達の「桜芥子図襖（さくらけしずふすま）」、川端龍子の大作を展示します。

会期中の10日間は、外国人観光客向けのイベントとして、拡大プリントした北斎の作品を記念館の入り口に設置し、英語対応ができる協力員が解説します。

期間：7月18日～8月23日



(神奈川沖波裏)

※2と3は徒歩圏内の立地を生かしたコラボ企画です。

※2の郷土博物館は、設備更新や展示替えのため、令和2年10月から令和3年3月末まで休館する予定です。

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部	文化振興課	
	課長	上記1	丹野	電話 5744-1709 (文化施設担当)
		上記2・3	北村	電話 5744-1217
	担当者	上記1	小池	電話 6425-7608 (勝海舟記念館)
		上記2	並木	電話 3777-1070 (郷土博物館)
上記3		西ヶ谷	電話 3772-0680 (龍子記念館)	

小中学生の東京 2020 大会競技観戦

新規

予算額 3,495 万 3 千円

副題：東京 2020 大会競技観戦を通じて、すべての子どもたちに

人生の糧となるかけがえのないレガシーを残します

ポイント

オリンピック・パラリンピック教育の集大成として、区立小中学校の全児童・生徒を対象に、大会における競技観戦を実施します。

事業概要

1 区立小中学校全児童・生徒の交通費の公費負担

各学校の最寄駅から競技会場までの公共交通機関の運賃を公費負担し、家庭への経済的負担を軽減します。

2 引率補助員の配置

学校と競技会場を往復する際の児童・生徒の安全確保を目的に、移動の補助をする「引率補助員」を配置します。

3 暑さ対策の実施

移動中や競技観戦中における児童・生徒の熱中症を予防する対策を講じます。



問合せ先	担当部課	教育総務部	指導課
	課長	岩崎	電話 5744-1434
	担当者	今井	電話 5744-1435

シティプロモーション事業の実施 **重** プ 予算額 1,838万5千円

副題：専門サイトや関連イベントを活用し、区のイメージ向上を図ります

ポイント

令和2年度は、東京2020大会、羽田イノベーションシティのまち開き、松竹蒲田撮影所開設100周年など大きな出来事が続きます。これらをシティプロモーションの大きなチャンスと捉え、地域の関連団体と連携した取り組みを行うことにより、区民から見た区への愛着度、推奨度の向上、来訪者から見た区の魅力度、認知度、イメージの向上などを図ります。

事業概要

1 シティプロモーション専用サイトの機能拡充、保守運用

専用サイトの機能拡充、保守運用、さらには以下の取り組みを促進し、区の魅力を効果的に発信します。

- ・東京2020大会など各イベントと関連付けた区のPR
- ・区のみならず、関連団体の取り組みを効果的に集約・発信する仕組み作り
- ・デジタル技術を活用した文化芸術作品の紹介
- ・外部メディアとの連携強化

2 シティプロモーション関連イベントの誘致

シティプロモーションに資するイベントの誘致を促進し、「まち」というプラットフォームを区が提供することで、来訪者の回遊性向上や商店街の活性化などによる地域経済の活性化を目指します。

〔令和元年度開催イベント〕

- ・主題：特撮のDNA－平成ガメラの衝撃と奇想の大映特撮－
- ・期間：令和元年12月13日(金)
～令和2年1月26日(日)
- ・主催：「特撮のDNA」展制作委員会
- ・共催：大田区



©2019「特撮のDNA」展制作委員会 ©KADOKAWA TNHN/1999

問合せ先	担当部課	企画経営部	広聴広報課
	課長	高野	電話 5744-1131
	担当者	曾田	電話 5744-1132

MICEの推進 重プ

予算額 869万8千円

副題：「大田区らしいMICE」の確立を目指します

ポイント

重層的な消費・経済活動を伴うMICEの開催は、開催地への経済波及効果が大きく、地域経済の活性化、ひいては開催地である区のブランド力・認知度向上につながります。区では、推進体制、区内資源、対応力、誘致活動の視点から、その構築、底上げなどに取り組み、「大田区らしいMICE」の確立を目指します。

事業概要

関係者と連携し、オール大田による推進体制、誘致に向けた支援体制を検討・強化しながら、MICE誘致を推進します。

1 (仮称) 大田区MICE誘致準備会

区内MICE関連事業者を中心とした実務組織とし、区内推進体制の構築を図ります。

2 開催に対する支援・助成

区内でのMICE開催にかかる経費補助や観光情報の提供など、主催者への支援・助成を行います。

3 IME (国際MICEエキスポ) 出展

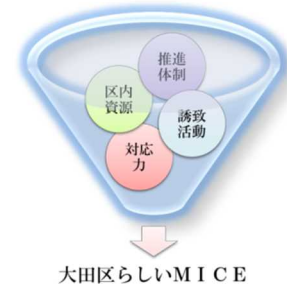
コンベンション施設などのPR、MICEバイヤーとの具体的な情報交換を目的に、MICE商談会に出展します。

4 誘致のためのエージェント業務

区内での開催が考えられるMICE事業について、区への誘致に向けた取り組みを強化します。



開催事例：区民ホールアブリコ
区産業プラザPiO



問合せ先	担当部課	観光・国際都市部 観光課	
	課長	吉川	電話 5744-1321
	担当者	金野	電話 5744-1322

事業承継支援事業

新規

重プ

予算額 510万円

副題：円滑な事業承継を支援し持続可能な地域社会を確立します

ポイント

後継者不在などの理由により廃業する事業者の増加は、技術・技能の途絶や人材の流失のみならず地域経済や地域コミュニティの弱体化を招く恐れがあります。こうした課題の解決を目指し、令和元年度には区が事務局となり事業承継連絡協議会を立ち上げました。令和2年度は相談体制の拡充や急な廃業を未然に防ぐモデル事業など、円滑な事業承継に向けた取り組みを支援していきます。

事業概要

1 事業承継支援事業

企業及び個人事業主の課題に対応するため、専門家と連携した個別相談及びセミナーを実施し、広く事業承継の重要性について広報します。

2 キャリア教育支援事業

次世代を担う若者が将来区内産業の発展に寄与する人材となるよう、キャリア教育を推進する団体と教育委員会などとの連携を支援します。

3 事業承継モデル事業

事業継続の支援に加え、店舗・工場が後継者に円滑に引き継がれるよう支援します。商業店舗を調査し、事業承継の意向を顕在化させ、意向に沿った支援を行うことで、急な廃業による空き店舗化などを未然に防ぐ、全国的に見ても先駆的なモデル事業を実施します。

問合せ先	担当部課	産業経済部	産業振興課	
	課長	上記1・2	堀江	電話 5744-1347（工業振興担当）
		上記1・3	小澤	電話 5744-1337
	担当者	上記1・2	桑原	電話 5744-1376
		上記1・3	川島	電話 5744-1373

(仮称) スマート商店街実証実験事業 **新規** 予算額 5,000 万円

副題：ICTの利活用により持続可能な商店街を目指します

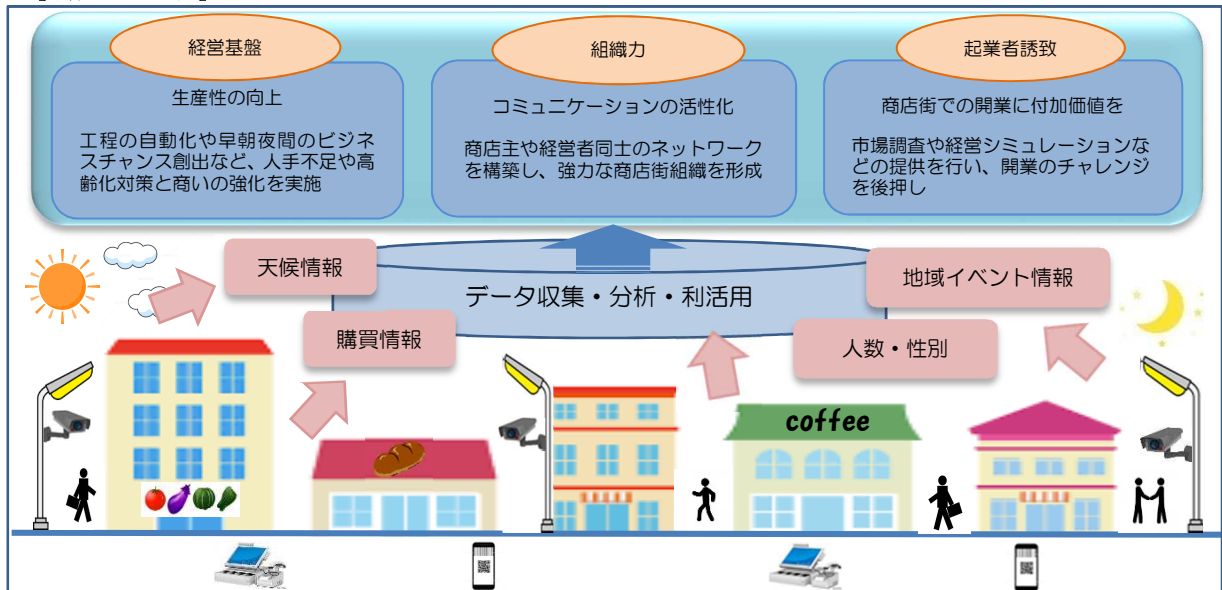
ポイント

軽減税率の導入や訪日観光客の利用増など、区内商店街の経営を取り巻く環境は刻々と変化しています。

商店街がこれらの変化に対応しながら、事業継続などの従来の課題解決を図り、これからも地域の賑わいの推進役を担い続けるには、ICTを活用した事業戦略が不可欠です。先進的な実証実験により、“持続可能な商店街の確立”を目指します。

事業概要

【事業イメージ図】



モデル商店街にICT技術を導入し、リアルタイムでデータ収集を行います。これに、天気情報や地域のイベント情報などを加え、ビッグデータによる分析を行うことで、商店街が抱える課題が見える化し経営戦略に利活用します。この実証実験の成果を区内商店街と共有し、持続可能な商店街の確立を目指します。

問合先	担当部課	産業経済部 産業振興課	
	課長	小澤	電話 5744-1337
	担当者	川島	電話 5744-1373

商店街魅力賑わいPR事業

新規

重プ

予算額 1,315万円

副題：都内最多数を誇る『大田区商店街』の魅力を広く区内外へ発信します

ポイント

区内に路線網を持つ交通事業者と連携し、多様性に富む大田区商店街の魅力をラッピング電車の運行や沿線回遊事業と連動したキャンペーンでPRし、商店街への誘客及び賑わいの創出を図ります。

事業概要

東京2020大会開催に伴うインバウンド客をターゲットに、空港線を中心として、都内及び近接県を走行する鉄道車両に車体広告（車両ラッピング）を実施します。大田区商店街の魅力を広く区内外に発信し、区内商店街への誘客を図ります。併せて、東京2020大会に向けて関係部局と連携し、最大の効果を図ります。

また、多言語化対応を含め、大田区商店街紹介ホームページに魅力あるコンテンツを充実させることで、それぞれの商店街の特色を生かした魅力の発信を強化します。



問合せ先

担当部課 産業経済部 産業振興課

課長 小澤 電話 5744-1337

担当者 川島 電話 5744-1373

I o T 仲間まわしによる中小企業の生産性向上プロジェクト

重プ

予算額 8,148万1千円

副題：仮想工場「I o Tファクトリー」により

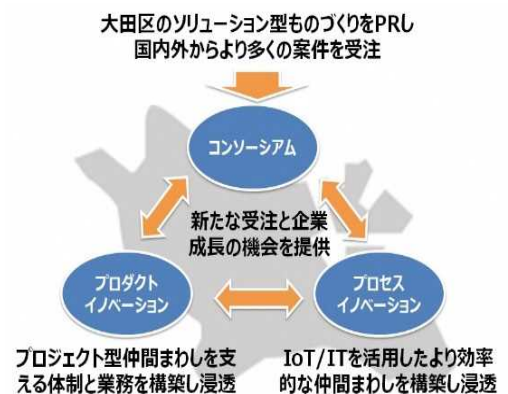
区内企業の生産性向上を図ります

ポイント

大田区のものづくりの強みである企業間連携「仲間まわし」にI o T技術を適用して、仮想工場「I o Tファクトリー」を作り上げることで、発注者に対し効率的なものづくりを提供できる基盤を整備します。完成品を設計から手がける付加価値の高い仕事の受注を拡大します。

事業概要

区内企業がI o T技術を活用し効率的な工程管理を行う「プロセスイノベーション」と、提案型企業を目指す「プロダクトイノベーション」を通じて「仲間まわし」の生産性向上を図ります。令和元年度は、このプロジェクトに区内企業が約60社参加して、付加価値の高い案件を受注し、取引総額約2,000万円を見込んでいます。令和2年度は実証実験の主体となる共同体「コンソーシアム」の体制構築を強化することに加えて、効率的な仲間まわしに寄与するI o Tツールの検証を進めます。



問合せ先

担当部課	産業経済部 産業振興課		
課長	臼井	電話	5744-1614 (産業交流担当)
担当者	久保田	電話	5744-1641

スタートアップとものづくり企業の連携創出実証実験 重 プ

予算額 8,430万7千円

副題：国内外スタートアップとの連携創出により、
大田区ならではのエコシステム自律化を目指します

ポイント

スタートアップ（ベンチャー企業）など多様な主体が参画し、製品開発などを図る「協創プロジェクト」を推進するため、区内企業と国内外の有望なハードウェアスタートアップとの連携創出を図ります。

事業概要

令和元年度は、東南アジア6か国（シンガポール、フィリピン、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア）及び国内のスタートアップと大田区のものづくり企業との連携創出事業により、4件の試作開発に取り組むことに成功しました。

令和2年度は、引き続きスタートアップと区内企業の試作開発連携に取り組み、羽田イノベーションシティをプラットフォームとして自律的に連携創出が行われるための機能を検証します。



問合せ先	担当部課	産業経済部 産業振興課	
	課長	臼井	電話 5744-1614（産業交流担当）
	担当者	吉村	電話 5744-1641

(仮称) 南六郷創業支援施設大規模改修工事

重プ

予算額 4億8,575万円

副題：多様な創業希望者を支援し、自治体発のエコシステムを構築します

ポイント

ものづくりのまち六郷に、インキュベーション施設を整備します。
令和3年度のオープンを目指し、大規模改修を行います。若者、子育て世帯、シニアなど、多様な創業希望者のニーズに応えるため、ユニバーサルデザインに配慮した設計とし、多くの人が活用する施設とします。

事業概要

令和3年度のオープンに向けて、大規模改修を行います。セミナーや創業相談に利用できるオープンスペース、仲間との協創を促すコワーキングスペース・シェアードオフィス、仕事に集中できる個室、工作機械を使用して簡易なものづくりができる試作スペースを設けます。また、エレベーターやスロープを設置するなど、ユニバーサルデザインに配慮した施設とします。



問合せ先

担当部課	産業経済部	産業振興課
課長	堀江	電話 5744-1347 (工業振興担当)
担当者	眞野	電話 5744-1376